

1学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

1学年 第57号

2016. 2. 15 (月) 発行

サザン・ウィンド

文責 横山

私事ですがインフルエンザを発症しお休みを頂きました。ここま何もしないと、その1週間が「不毛」となります。個人的にも不毛はなるべく避けたいものです。よって、諸君の今後に活かしてほしいと思い、その間のことを学年通信でレポートさせて頂きます。勝手だな？

初期症状は「やや熱っぽい」程度で、苦しさや辛さも無く、ただの体調不良と思っていました。しかし、その数日前から米沢でもポツポツ「インフルエンザ」という声が聞こえていたので念のため受診したところアタリでした。お医者さんが、鼻の粘膜を綿棒で取って試験機に入れると、あっという間に「ハイA型です！」とわかりました。また、そのお医者さんは「インフルエンザは新幹線に乗って南からやってくる」という話をされました。その日患者さんが少なかったからか、私が聴き上手だったからかわかりませんが、先生は熱のある私に「熱っぽく」語ってくれました。

- 1 インフルエンザはロシアやカナダなどの北の湖で発生する。
- 2 湖の水を飲んだ水鳥がウィルスを体内に蓄えて秋～冬に南化する。
- 3 水鳥のフンなどから人間が感染する。鳥はインフルエンザの症状が出ない。
- 4 人口が多い(密集している)地域ほど感染のリスクが高い。つまり東京などの都市部。
- 5 東京で感染した人が新幹線で米沢駅に降りる。つまり米沢からインフルエンザが始まる。
- 6 米沢から米坂線に乗って川西→長井、飯豊、小国に至る。

実は、このとき、熱もあるし体調も最悪だったのですが、お医者さんは一生懸命に説明してくれるのです。私はこれまでの恩義もあるので「もういいです」とか「許して下さい」とも言えず、へろへろになりながら聞きました。さらに、お医者さんは「そういえば横山さんは米沢興譲館の先生だよ。興譲館の先生でインフルエンザが大発生しているってメール廻って来たよ！」と、これまた嬉しそうに(絶対OBだな)話をされるわけです。確かに今回、私を含めて15名ほどの教員がインフルエンザとなりました。米沢市立病院をはじめ、各所で「興譲館大変だね！」と言われました。これほど広がった理由は何でしょうか。米沢の先生方は仲がいいからでしょうか。ただ、生徒の



発症が最低限だったのが救いです。特に3年生は「気を張っている」からか1～2名にすぎません。とすれば、罹患した私は「弛んでいた」のかもしれませんが。お医者さんの話を聞きながら、私の脳裏にある曲のフレーズが流れてきました。“あいさつするのよ 海風に 自然に体がリズムとる ♪” そう、風邪は南からやってくる「サザン・ウィンド」そうだったのか。中森明菜の曲はそういう意味だったのね！ということで終わり。チャン²

P S インフルエンザはまだ健在です。予防&早目の受診を心がけて下さい。

松田 修 先生、ご講演ありがとうございました！

2月10日(水) 午後に山形大学工学部教授 松田修先生をお招きして、1年生の進路講演会を開催しました。10名を超える保護者の方や、校長先生はじめ多くの先生方にもご聴講頂き、あっという間の110分でした。私が先生にお会いしたのは昨年12月の研修会です。正直言うとあまり気乗りしない会でしたが、先生のお話がはじまって5分後には「松田先生命！」となった私がいま。と同時に「1年生諸君に松田先生を会わせたい！」という思いが止められなくなりました。思うと一途に走ってしまうタイプなので？ 校長先生や学年の先生にお願いして実現できました。私は「アナタの生きる意味を1つだけあげなさい」と問われたら、おそらく「人と出会うこと」と答えるかもしれません。そう言った意味で、この仕事に就いたことを感謝しています。毎年200名の「生徒」と出会うことができるのです。いろいろな職業がありますが、これだけの年に毎年出会う、さらにその人の人生に関われる仕事ってそうはないです。羨ましい！と感じた人は教員になって下さい。さて、私のことばかり書いてもつまらないでしょうから、生徒諸君や保護者の方の感想を紹介します。はじめは用紙の裏表にビッシリ！と書いてくれた4組のS君です。大作だけ！

1年2組 Y. A. さん (フェンシング部)

実になる講演会でした。これからの世界や自分の周りの環境がどういったものに変化していくのかが具体的に知れてよかった。欧米の時間軸の話が興味深かった。0代から50代までの年代別で取り組んでいったらいいこと。実体験から具体的な話を交えて説明してもらったので、とても理にかなっていることが理解できた。センター試験に向けた学びも大事だけれど、国際情勢などのリベラルアーツを学んでいかななくてはいけないし、学びたいと思った。語彙力も増やしていきたい。第1章のIND 4.0 (第4次産業革命)、IoT (Internet of Things)、AI (人工知能)の話も興味を魅かれた。特に、IND 4.0とIoT。IND 4.0は調べてみると先生の言うとおりドイツが先駆けて取り組んでいた。IoTを密に関わり、ドイツでは2013年に2億ユーロ、約280億円の予算が割かれていたらしいです。何故ドイツが1手も2手も早いのか調べてみると、ドイツは「自動車産業」を筆頭とした「組み込みシステム」の分野で高い技術力を持ち、INDのベースとなる「CPS」(Cyber Physical System)なるものの実現に取り組んでいたらしいです。「CPS」の説明は省きますが、例えば視覚システムや各種センサを搭載した作業ロボットをネットワークでコンピューターに接続することにより「何も指示を与えなくても自分で考えて作業を行えるようにする」ものだそうです。このCPSをベースで、さらに昇華していった至ったものがIND 4.0へと続いていると思われるので、ドイツが1手も2手も先に行っているのが理解できました。そして、将来、事務員やら受付員などが消えていくのも同時に理解できました。次に「IoT」ですが、2013年10月にオーストラリアの講演で、スマートオブジェクト(IoTによってネットワーク化される様々なモノ)の数が2013年時点の125億から2020年までに500億に増えると指摘されたらしいです。これは電気や電話に比べて普及率は5倍の速さで増加しているらしいです。注目すべき点が「その潜在的な利益は、今後10年間で約400兆円(約3兆8800億米ドル)に及ぶと見積もられている」ということらしいです。



・コスト削減 ・労働効率の向上 ・無駄の排除 ・市場投入までの時間短縮 ・顧客の増加

Internet of Things



などの要因から上記の額が見積もられているとのことらしいです。この潜在的利益が浮上してくるのは私達が大人になってから、という話です。とてもワクワクしました。調べていて、私は文系を選択し将来的に残っていると今回表記されていた小学校教諭になってみたいと考えていました。がしかし、今回の講演で前回横山先生が言っていた、午前3時に会議があるといった会社員にも俄然興味が湧いてきました。選択肢を多く持てるようにするために課題等々に精力的に取り組んでいきます。第2章で出た小目標を実践し、小目標を積み上げていきます！

余談ですが今回ネットで調べて出てきた「ルネサス エレクトロニクス」という株式会社がまとめた内容を、ほとんどそのまま引っ張ってきたので「～らしい」と表現しました。松田先生が講演の後半で「情報をそのまま鵜呑みにしてはいけない」とおっしゃられていて、自分で調べて真偽をはっきりとすべきところですが、時間もなかったので「～らしい」という表現にしました。すいません。最後に、今最新のIoT商品を紹介しているサイトを紹介します。「経営ハッカー」というサイトで、<http://keiei.free.co.jp/2015106/30/iot-business/>です。私はPIP, Luna, 94Fifty, Valor, Cone, Prizm, The Dash が欲しくなりました。今の科学技術の発展はすごいと気付かされた日でした。本当に最後の講演中であつた、アメリカの大学で「10ドルは何ドルだ」のやりとりの真意がものすごく知りたいので、ぜひ教えてください。よろしく願います。長文失礼いたしました。(全文掲載しました)

ご聴講頂いた保護者の方です。

実に興味深いお話でした。息子、娘の将来のためと思ひ会場に足を運んだはずでしたが、いつの間にか私がこれからの人生をどう方向づけるべきなのか、などを考え始めておりました。子供たちが作りあげる、これからの時代についていけるのだろうか？少しは手助けできるだろうか？子供たち同様に、私も努力が必要なようです。同じ米沢に生まれながらも、常に時代の先を進み、社会を作ってこられた松田先生のお話は、とても説得力があり、心に響くものがありました。低迷している地方都市にも等しく科学の未来が訪れるのか。いつ？楽しみでもあります。本日は、素晴らしい知的な時間を催して頂きありがとうございました。感謝しております。

1年1組 K. C. さん (ホッケー部)

講演を聞いて、まずは「小目標持とう」と思いました。私は目標などを考えずに毎日を過ごしていたのですが、小目標を持つようにすれば生活が充実すると思いました。目標を持って生活していた人の収入が、そうでない人の収入よりもずっと多いことを聞いてとても驚きました。これからは英語の力が重要になるので、学校での英語の学習を頑張ります。また、語彙力をつけて、今知らないことをたくさん知って社会に貢献できるような人になりたいです。先生に教えて頂いたように、朝食をしっかり食べて、1日1日目標を達成できるように、やる気を出して毎日の勉強と部活を頑張ります。

(Cさん以降は一部抜粋です。本当はたくさん書いてくれていますヨ)



1年1組 T. T. さん (サッカー部)

今回の講演で最も伝わってきたのは「やる気を出せ」ということです。「目標を達成したいという意欲」が「やる気」であり、その「やる気」を出しやすくするために小目標を立てるべきだと感じました。私の今の小目標の1つは「今月(2月中)は、本を借りて毎日10ページ読む」ということです。とてもやる気が出ます。10ページ位なら毎日でも読めるし、興味のある本ならなおさらです。また、もう1つの小目標は「今月は毎日10ページの音単を読む」ということです。そこで私は「勉強するときに音単を机の上に置く」というルーティンを取り入れてみたいと思います。

1年1組 M. S. さん (ESS)

松田先生の話聞くのはこれで2回目でした。高鍋高校との交流のときに、一度イノベーションセンターで聴かせて頂きました。私が一番興味深いと感じたのは「スマート未来ハウス」です。手をかざしただけで体内環境が分かる、寝るだけで病気になるリスクが分かる、などは今ちょうど私達のFSポスターでまとめている遺伝子治療のことです。ここまで発展すれば、講話にあつた通り内科医はいらなくなるでしょうし、無くなる職業もたくさんあるよと納得しました。また、自分で病気になるリスクがわかるので予防もできるようになり健康寿命も延びる。そしたら今の労働基準も変わるだろうし、年金制度も変わるだろう…と考えると、とてもおもしろいと思いました。

1年2組 E. H. さん (バドミントン)

2030年には今ある仕事の60%が無くなるなんて聞いて驚きました。その60%の仕事が人工知能でできてしまうので科学ってすごいと思いました。人工知能が人間を超えてしまったとき、人間はどうなるのかとても心配になります。でも、人工知能が活用されて生活が豊かになるのは楽しみです。今の社会は、いい大学に入って、大企業に入ればとりあえずOKというのが当たり前です。私はそうならないように、将来の夢を実現していくために勉強し大学に入学して就職します。

1年2組 S. M. さん (吹奏楽研究会)

私は語彙力が無いと思います。こうやって感想を書きながら痛感しています。やはり、LINEやメールでのやりとりでは語彙力はつかないと思います。たくさん本を読んで言葉を知っていくことが大切だと思います。私はこの話を1年生の今、聞くことができたのはとても幸運なことだと思います。大学入試までの約2年ある今なら、まだ語彙力はつけられると思います。これからたくさん本や新聞を読んで、どの大学でも入れるくらいの語彙力をつけたいです。まずは、学年末考査でいい点数が取れるように頑張ります。

1年2組 H. C. さん (ホッケー部)

松田先生の講演の後は、とてもやる気が出てきました。一番印象に残っていることは「小目標の小達成」という言葉です。最終的なゴールは目的。目標は目的を達成するためのもので過程であること。目標は具体的に。長くても3カ月で達成できるもの。私は目標と目的の違いがよくわかっていませんでしたが、今日の講演を聞いて明確に分かりました。これからは、小さなことでも「今日はこれ」と小目標を決めて、きちんと達成していきます。そして、毎日小目標を小達成して、やる気もとのドーパミンを出したいです。また、35℃しかない体温を37℃近くまで上げられるように健康的な生活を送りたいです。

1年3組 K. R. さん (サッカー部)

今回の講演会は今まで聴かせて頂いた中で、一番現実的で、これからの生活に直結する中身で、とても心に残りました。面接の可否は6秒で決まる、ということから始まり興味の湧く話がありました。1つは「物事を理解する」ということについてです。例としてあげられた「メタ認知」について、物事を全て鵜呑みにせず自分で調べて理解しなければ、玉石混交である身の周りの情報に流されてしまうということから、以前自分もメタ認知によって人前で話すときに失敗してしまったことを思い出しました。最後の「やる気」についてはとても印象に残りました。将来やっていきたいことを目的として、バックキャストイングによって現状から目標を作っていくことで計画を立てて、小目標の小達成によってやる気を作れるということを知り、これからの生活の中で、将来へ向けての小達成の積み重ねをコツコツとし、次へと繋げていきたいと思っております。

1年3組 S. M. さん (山岳部)

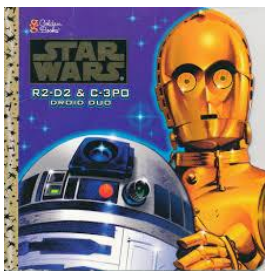
松田先生の講演をお聞きして、自分が今まで考えていたことや知っていたことは、今の時代に適していないのだと気づき、少しでも早く知ることができてとてもよかったです。論理的思考は必要なものと再認識できましたし、やる気の出る食べ物のお話は興味深かったです。また、松田先生が午後9時に寝て、午前3時に起きるという生活をしていると聞いたとき、自分が始めた生活習慣は間違っていないと気づき、これからも続けていきたいと思っておりました。講演会でお聞きしたことは、どんなときでも使えることだと思うので、しっかり覚えて生活に活かしていきたいです。

1年3組 S. Y. さん (陸上部)

今回の講演会は私にとってあまりに衝撃的でショックの大きいものでした。松田先生は「楽観的に！」とおっしゃっていましたが、今の私にとっては楽観的に受け止めることはできません。その原因は2030年の生活があまりに悲しくさびしいと感じたからです。動画にあったように2030年には学校や教室もなくなります。子供が1日中、画面越しのコミュニケーションしか取れないような、そんな環境で私は自分の子供を学ばせたくありません。自分の足で通い、教科書をめくり、シャープペンを握り、友達と腹筋が痛くなるくらい笑い、授業では先生の声や考えを感じ、人間として豊かに育ってほしいのです。また食事も、3Dプリンターで作られたものではなく、私の母がしてくれるように、丁寧に作って「家庭の味」を楽しみたいです。コンピューターが人間の脳を超えたとしても、人と人とのつながりや人のぬくもりは生み出せないと思っております。私は便利ではなく幸せを選びます。こんなに“人”について考える機会を与えて下さりありがとうございました。

1年4組 O. K. さん (陸上部)

話の中で一番「どきっ！」としたのが、日本人の9割が他人の意見を自分の意見にしているということです。首都など、少し考えれば全部ウソなのに、いつもその「考える」のを忘れていて少しくらい心配になりました。しょっちゅう、意識が低いのだ、もっと高みを目指せだの、毎日 My Way 出せやら、四点固定やらではなく、日々違った明確な目標1つを立てて、そのプロセスを考えることが大切だと思った。はじめは「大学の内容は使えない」と言っていて、高卒者最良主義の人かと思ったが、大切なのはそれを社会につなげることだと聞いて少し納得した。興譲館に入った以上、一般の社会に入っても損ばかりだと思うので、上を目指して頑張りたいです。



1年4組 S. M. さん (調理科学部)

松田先生のご講演、とっつっつっつもおもしろかったです!!! テレビや新聞では見ることは、知ることができないことが、今日はたくさん学ぶことができ感謝しています。まず驚いたのが「日本と欧米の教育制度は大きく違う」ということです。欧米は、幼稚園から大学まで1つの大きな流れというか枠組みのようなものがあり、それぞれの場で学んだことが次のステージに繋がっているというスタイルでした。それに対して日本は、それぞれの場で学んだ内容は良いものなのに全体として繋がっていないというものでした。言われるまで気がつかなかったけれど、言われてみると「なるほど」確かにそうだと思います。また、欧州の大学で実際に企業に就職し、お給料をもらえるという制度がすごくいいと思いました。お金をもらって仕事をすることで、自分の仕事により責任を感じるようになるし、企業の一員であるという意識が高まります。日本でも、そのような制度をどんどん取り入れていけば、若者の離職率が低下していくし、実際に就職したときに、もっとやる気を持てるようになるのではないかと思います。

1年5組 I. S. さん (バレーボール部)

先生は「4万5千語の語彙があればどんな国にも行ける」と話していました。私は昔からあまり本を読むことがなかったから、知らない言葉が多いと分かりました。また「人口が増えている国の言葉を覚えるといい」とおっしゃいました。英語の大切さを改めて感じることができました。また「世の中の情報はほぼ嘘だ」ということです。これを聞いて驚いたのと同時に確かにそうだと思います。実際に自分でやってもおらず、インターネットやツイッターなどの情報が正しいか分かんないと思っておりました。情報を選択する際にもっと考える必要があることを学びました。

1年5組 N. H. さん (バスケットボール部)

私はいつも「〇〇大学に入る！」とか「〇〇になる！」とは言っておりましたが、そのために何をすればいいのかわからず、ただ毎日をすごしてきたように思います。それは小さな目標を作ったからだと思います。先生は1カ月でできる目標とおっしゃっていました。だから、小さな目標を積み重ねて、夢の実現に近づいていきたいです。また、人の印象は6秒で決まるという話がありました。私は緊張すると笑顔が作れなくなります。でも、そのせいで印象が悪くなってしまうのは嫌なので、日頃から笑顔を心がけたいです。これから、たくさんの辛いことや苦しいことが私を待っていると思っております。でも、諦めないで、小さなことをコツコツ積み上げていきたいです!!!

1年5組 K. S. さん (ホッケー部)

松田先生のお話は私にとって衝撃的な内容ばかりでした。AIは私は悲観的な立場でしたが、実際はメリットもあると気づきました。人手不足の解消、言語の壁が消えるなど、今の生活とはまるで違います。この講演をきっかけに、自分の現在と将来をじっくり考えることの必要性を学べたと思っております。先生は「自分で考え判断すること」を強く主張されておりました。そこで、私なりに“AI”について考えてみたいと思っております。数年もすればAIによって冷蔵庫が管理され、効率的に調理ができるようアドバイスしてくれるようになるそうです。ですが、これは本当に「良い」ことなのでしょうか。スーパーで賞味期限をじっくり見る母親の姿は消えるのでしょうか。新鮮な野菜を選ぶ父親も絶滅するかもしれません。この姿が無くなるのは本当に進歩といえるのでしょうか。その姿を見たからこそ、食材を大切にしないといけないという「普通」の心があるのです。AIに考えることを任せば、人間はいずれ人間ではなくなるのではないのでしょうか。

結びに

講演会后、また昨年松田先生からいろいろなお話を(個人的に)お聞きしたのでここで紹介します。松田先生は、生まれ年から計算すると昭和40年頃の卒業生と思われます。高校時代の同級生には当時「海外に留学した人」がいたそうです、とても羨ましかったとおっしゃっていました。その頃海外渡航は今より何倍も大変で高額だったに違いありません。同様に、明治時代やその前後にも多くの日本人が海外に渡っています。今回、文部科学省主催の「トビダセ!留学 JAPAN」に2名の1年生がエントリーしました。ぜひ書類審査や面接をクリアーして実現させてあげたいものです。いつも話しますが「外の世界を知ること」は大切です。そのためには実際に「海外に出る」のが一番です。しかし誰しもが高校時代にできることではありません。松田先生からは「海外から留学生を米興によびたい」というお話も頂いています。また、今はALTのリン先生はじめ山大工学部から多くの留学生の皆さんが毎週のように来校されています。その方々と交流することで、海外に留学しなくとも多くのことを学ぶことができます。また、新聞や本、TVやネットからも情報を得ることもできます。ですから、真に「海外のことを知りたい・触れたい」とアナタが思うならその手段は無限にあるということです。「強く望めば実現する」は今回の講演会の実現も同様です。朱子は「精神一到 何事か成らざらん」と言った。俗に言えば「101回目のプロポーズ」です。1度や2度の失敗で挫けてはいけませんよ!特に男子諸君!と私は声を大にして言いたい。前出の留学希望の2名はともに女子です。「こんなところに日本人」も圧倒的に女性が多いですね。なぜか日本の男は(私も含めて?)情けない。私が男子諸君に送るキーワードは「マザコン」です。まずは、このコンプレックスから卒業することが実は大切です(これは問題発言だな。きっと…)



なお、松田先生から「スマート未来ハウス」や「イノベーションセンター」を生徒に紹介したいというお話を頂いています。来月3月18日(金)に決定しました。できれば両施設を見学後、松田先生から「講演会の続きのお話」をして頂くことも考えています。1年生の生徒・保護者の希望者対象です。詳細は後日連絡しますので楽しみにしておいて下さい。

<今後の予定>

- 2月15日(月) 学年末考査1週間前より部活動は休止となります。
- 2月22日(月)～26日(金) 学年末考査です。1年生の成績が確定します。
- 2月20日(土)、21日(日)、25日(水) 8:00～16:30 登校学習可能です。が、3年生は前期試験前の最終最後の週末です。安易な気持ちで登校してはダメ。
- 3月 2日(水) 卒業式です。
- 3月 5日(土) SSH校内研究発表会です。右ページに時間と内容を載せてあります。案内は後日配付します。なお、夕方から「1年生保護者役員会・懇親会」を行います。役員会の1次案内は、2月16日(火) 生徒を通じて配付しております。

3月に「東京大学生と共に過ごし学ぶ2日間」という企画があります。興味のある人は2月中に担任の先生に相談して下さい。現在3名の1年生が参加を検討しています。東大生が勉強の仕方なども教えて下さるそうです。詳細は右ページです→

平成27年度 スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会

- 1 期 日 平成28年 3月 5日(土) 9:55～15:15
- 2 会 場 米沢興譲館高等学校講堂及び体育館
- 3 内 容 理数科2年生によるスーパーサイエンスリサーチの口頭発表及び1年生による異分野融合サイエンス学習内容ポスター発表

時 間	2年理数科	1年	2年普通科	外部参観者等
8:40 ～ 9:30	準備(SSR)	準備(SS情報)	通常授業(50)	↓ 来校
9:30 ～ 9:55	清掃(15)、移動(10)			
9:55 ～ 10:05	開会行事(校長挨拶, 審査員および参観者紹介)			
10:05 ～ 11:34	2年生理数科によるグループ別の課題研究発表(前半) SSR各領域グループ1～6			
11:34 ～ 11:59	1年FSグループ別学習内容ポスターセッション発表・見学(前半)			
11:59 ～ 12:40	昼 食			
12:40 ～ 13:39	2年生理数科によるグループ別の課題研究発表(後半) SSR各領域グループ7～10			
13:29 ～ 14:04	1年FSグループ別学習内容ポスターセッション発表・見学(後半)			
14:04 ～ 14:15	投票(11)(審査員は協議)			
14:15 ～ 14:55	2年コアSSクラブ城戸淳二塾専門研究成果発表(40) (選挙管理委員は集計作業)			
14:55 ～ 15:15	閉会行事(講評, 審査・投票結果発表, 表彰)→後片付け			

難関大志望者セミナー「春の学校」～東大生と学ぶ～

- 1 期 日: 3月20日(日)～21日(月) 1泊2日(21日は代休です)
- 2 場 所: 海麓園(鶴岡市下川字東海林場)
- 3 対 象: 県内外の難関大志望者(東北大以上)の1, 2年生
- 4 参加費: 8000円
- 5 その他: 交通手段は検討中です。横山が運営スタッフとして参加予定です。